

2021年度（令和3年度） 芦屋市障がい者基幹相談支援センター事業報告

資料2

重点課題	事業計画		実施(予定)計画	実施内容	成果と課題
1) 専門的な相談支援	委託相談支援(3障がい)	継続	・ケース対応 ・対応件数の集約とケースの共有、地域の課題を抽出・整理。	・課題複合ケース 89件 延べ相談対応回数 2,963件 ・虐待ケース 25件 延べ相談対応回数 387件 ※令和4年2月末現在	・全ケースレビューを始めて実施。これまでケース進展時に担当相談員からの報告のみだったが、改めて各相談員が基幹相談員として関わるケースを共有。次年度以降も定期的に行い、今後はケース共有だけでなく、ケース検討も実施していく。 ・保健センターや子ども相談部門との連携を強化したことで、児童関連ケースの相談が増加した。
	基幹相談支援センターの機能強化	継続	・基幹相談支援センター運営のための研修参加	・基幹相談支援センター関連研修(2回) ・相談支援専門員関連研修(5回) ・医療的ケア研修(3回) ・防災対応研修(2回) ・木下先生による基幹相談員研修(1回) 等	・今年度より医療的ケア児支援協議会が発足されるにあたり、医療的ケア関連研修に積極的に参加し、法律や近隣他市の動き、課題等を学習した。 ・次年度は、他分野との連携を意識し、「重層的支援体制」について、権利擁護の視点にて「意思決定支援」の知識を習得していきたい。
	サービス等利用計画作成への助言	継続	・芦屋版計画相談マニュアルの作成	・継続したマニュアルの改訂 ・相談員のマニュアルの積極的活用を推進	・新たな追記は行わず、構成の見直しを行う。 ・基幹相談員のみで行っていたPTを広く有志を募り、計画相談員もPTに加わった。
2) 地域の相談支援体制の強化の取組	相談支援事業者への指導・助言	継続	・一般相談員、計画相談員への助言 ・一般相談ミーティング、クローバー会議への出席	・随時 対応ケースへの助言、同行訪問等を実施 ・一般相談ミーティングへの会議参加(月1回) ・クローバーとの支援調整会議への参加(年4回)	・一般相談(相談支援事業)やクローバーとの会議では、ケース検討を行い、支援方法の検討を行うとともに情報共有に努めた。 ・必要に応じて、面談・訪問に同伴・同行した。
	相談支援事業者への人材育成の支援	充実	・事例検討会の実施 ・相談支援関連研修の実施	・事例検討会(市内相談員対象:2回、基幹相談員対象:1回) ・田口隆司先生による事例検討会(市内相談員対象:3回) ・パーソナリティ障がい研修(市内相談員対象:1回) ・成年後見制度研修(市内相談員対象:1回) ・ファンリテーション研修(基幹相談員対象:1回) 等	・基幹相談員が市内相談員向けに事例検討会を実施していくため、基幹相談員のスキルアップのため、基幹相談内でも事例検討会やファンリテーション学習を実施し、運営方法を学習。 ・次年度は、基幹相談と市内の主任相談支援専門員が協働で事例検討会をする方向で検討中。
		継続	・相談支援連絡会の実施(市内計画相談員対象)	・相談支援連絡会の実施(4回) ・地域課題について、社会資源情報交換、65歳PTツール説明会	・芦屋市民のケース担当している相談員が、相互交流・情報交換を行うことで、相互にスキルアップを図り、地域課題の抽出や解決策を検討。 ・これまで基幹相談員が事務局を行っていたが、一般相談、計画相談員も事務局に加わり、自助グループ的な運営へと移行していった。 ・これまで基幹相談、権利擁護支援センター、クローバーにて発達障がい疑似体験研修を実施していたが、今年度より「手をつなぐ育成会」も加わっていた。知的障がいも含めた疑似体験研修とし、各地区を回った。 ・中学生向けにも実施できたので、今後とも学生や行政職員向けにも実施していきたい。
	地域の相談機関等との連携強化	継続	・民生児童委員への普及・啓発 ・地区福祉委員会への普及・啓発	・福祉を高める運動 ・地区福祉委員会にて知的障がい・発達障がい研修を実施(4回) ・中学生福祉ボランティア講座へ出講(1回)	・左記が新規でセンター長が参画した会議等。 ・ヤングケアラー支援では、相談窓口が掲載されたチラシを作成。 ・既存の児童部門の会議に参画し、児童部門との連携強化を図った。
		継続	・地域発信型ネットワーク会議への参加	・地域ケアシステム検討委員会(6回) ・専門職向け気づきのポイントチェックシート作成PT(5回)	・各分野から現在抱えている課題を抽出した上で、R4年1月「外国人支援に関する勉強会」を開催。 ・また、昨年の住民向け気づきのポイントチェックシートに引き続き、今年度は専門職版を作成する。
		充実	・自立支援協議会事務局(障がい福祉課)の運営協力 ・実務者会の開催及び運営(年5回程度) ・専門部会の開催及び運営(年5回程度)	・自立支援協議会(3回) ・実務者会(6回) ・専門部会(4回)	別途 報告のとおり
		継続	・65歳問題PTへの参画・運営(地域ケアシステム検討委員会)	・地域ケアシステム検討委員会のPTとして実施	・令和3年3月に完成した連携ツールやグランドルールを実際に65歳移行される方に協力いただき実施し、検証。その結果をもとに振り返り会議を行った上でPTは解散とした。 ・そのツールやグランドルールを相談支援連絡会でロールプレイを行いながら、相談員間で周知した。
	地域生活を支える体制整備に係るコーディネート(自立支援協議会の運営・活動)	継続	・障がい福祉ポータルサイト「あしやねっと♪」の運営と周知	・「あしやねっと♪」の内容更新を随時実施	・月400～600アクセス。 ・イベント情報だけでなく、助成金情報も掲載を始めた。 ・アクセス数増加のため、現在市内公園バリアフリー情報の掲載や事業所紹介動画の掲載に向けて情報を収集している。
		継続	・障がい福祉まるっと説明会の実施	・Webにて「まるっと説明会」を実施(R3年8月18日～8月31日) ・実行委員会(4回)	・当初R3年6月12日に市役所にて実施予定であったが、コロナ禍による緊急事態措置期間と重なったため、Webにて①事業所紹介動画(15ヶ所)、②特別講演(4テーマ)を配信。 ・次年度は、R5年2月開催予定。
		継続	・芦屋市障がい児・者作品展の開催への協力	・福祉センターや木口記念会館にて開催(12/8～12/14)	・作品数196点(昨年度165点)、作者数25団体・556人(昨年度20団体・481人)、感想文165通(昨年度171通)。 ・今年度は、自分の作品が載ったカレンダーを記念品贈呈し、好評であった。
3) 地域移行・地域定着	地域移行・地域定着の促進の取組	継続	・施設・病院等への地域移行に向けた普及啓発	・新型コロナの影響で、病院訪問未実施 ・地域移行支援を周知するためのチラシの改訂	・コロナ禍による病院訪問が出来ないため、地域移行紹介チラシの改訂を行い、近隣病院へ配布した。 ・昨年度製作した社会資源紹介動画を見られた近隣病院から退院支援に向けた問い合わせが入った。
		充実	・地域における地域移行・地域定着に向けた基盤づくり	・実務者会(3回)	・健康福祉事務所、障がい福祉課、基幹相談にて定期的に実務者会を設け、地域移行紹介チラシの作成や地域移行の課題、解決方法について検討した。
		継続	・ケース対応	・地域移行 支援:3件	・コロナ禍による面会制限の中、入院が8年を越え、地域移行支援も4年目を迎えていた方が、退院へとつながったなど、計2名が退院となった。 ・地域移行支援の退院先がグループホームになることが多いため、制度上地域定着支援の対象外となり、地域定着支援の利用者数は増えていない。
4) 権利擁護・虐待防止	障がい者虐待防止の取組	継続	・ケース対応、夜間・休日の対応	・虐待通報受理25件、そのうち虐待認定5件 ※令和4年2月末現在 ・前年度からの対応継続件数は5件	・昨年同様警察からの通報が増加しており、昨年以上の通報受理となった。 ・半数以上が警察からの通報である。 ・これまで基幹相談員が、虐待対応の一連の流れに慣れた頃に異動することが多く、一連の流れの習得が課題であったため、担当を二人体制とし、流れを早期に習得するとともに、行政と役割分担を更に明確化した。
		充実	・虐待ケースモニタリング ①ケース共有と対応進捗管理 ②システム改善や地域資源開発等の検討 ③虐待ケースの具体的支援方策を検討	・モニタリング会議開催(3回) ・分析する縦レビュー会議を高年齢側と合同開催	・行政、権利擁護支援センターと協働で虐待対応ケースの共有を行うとともに、虐待対応最終ケースについてもモニタリング会議にて経過報告も行うこととし、アフターケアの充実を図った。 ・昨年度に引き続き、高年齢側と障がい側で虐待ケース対応についての分析会議を実施。 ・高年齢側でケアマネジャー向けの虐待対応研修をするにあたり、企画段階から参画。来年度は、障がい計画相談員向けの研修を実施予定。
		継続	・障がい者虐待防止のための研修会開催(年1回) (施設従事者虐待の防止のための研修) ・対象:芦屋市内障がい福祉サービス等従事者(権利擁護支援センター、自立支援協議会と協働で実施)	・障がい福祉サービス従事者向け虐待防止研修(1回) ・内容:虐待通報と改善計画書に関する研修 ・対象:芦屋市内障がい福祉サービス等従事者	・障がい福祉サービス従事者等41人(前年度29人)が参加。 ・今回は対象を経験年数で絞らなかったため、参加者も増加した。 ・一方で全体的に時間が短かったことで、伝えなかったことが伝えきれなかった部分もあった。 ・次年度のテーマは、「虐待防止委員会について」を検討中。